

平成 28年度 とちぎ夢大地応援団 カレッジ活動

「鹿沼市中栗野地区」

第2回活動報告 H28・12・10(土)

第2回とちぎ夢大地応援団カレッジ活動が12月10日、鹿沼市中栗野の「遊の郷直売所・交流館」や近くのハス池で、宇都宮市の文星芸術大学生や中入栗野むらづくり推進協議会（安生英雄会長）の会員ら23人が参加して行われました。

今回のカレッジには、文星芸術大学美術学科でデザインやアニメ、マンガ等を学ぶ1，2年生5人と職員3人の8人が参加し、そば打ち体験やハス池周囲の畦畔に漏水防止シートを張る農作業を行いました。

そば打ちは、地元の人たちの指導のもと、粉を混ぜる、水回し、こね、のし、折りたたむ、切る、ゆでる、冷やすまでの一連の工程を、ふたり1組になり体験しました。昼食では、自分で打ってゆでたそばとほかの人たちのそばを食べ比べ、批評し合っていました。

午後は、直売所前のハス池の周囲の畦畔を、まずスコップで掘り、そこへ漏水防止シートを張る農作業を行いました。作業中、土の中から出てくるハスの茎やドジョウなどに歓声を上げながら楽しく作業をすすめ、地元の方の予想より早く作業を終了しました。

カレッジに参加した学生たちは、「自分で打ったそばがいちばんおいしく感じた」「地元の人たちとそば打ちや農作業をするのがとても楽しく、よい経験になった」「大学でこんな経験ができるとは思っていなかったので、この経験が作品にも出たらいいなと思った」などと感想を語っていました。



参加した文星芸大学生たち



あいさつする安生中入栗野むらづくり推進協議会長（右から3人目）



ふたり1組でそば打ち体験、まずは混ぜて、水回し



こね方を教わる



のし



切る



ゆでる、冷やす



まずは自分たちの打ったそばを食す



みんなで食べ比べ



そばを囲んで交流会



ハス池の周囲の畦畔をスコップで掘り下げる



漏水防止シートを張る



きれいにシートが張れました